

109.小児喘息、重症度分布と治療の経年推移に関する多施設調査

(日本小児アレルギー学会疫学委員会主導の多施設共同調査研究)

研究の概要

日本小児アレルギー学会疫学委員会が主導の多施設共同調査研究で、全国の小児気管支喘息の患者さんの実態を調査します。

研究の目的と方法

・目的

小児気管支喘息患者さんの実態の変遷を知ることに加え、2020年度のコロナウイルス感染症2019(COVID-19)による小児気管支喘息への影響を評価します。

・方法:

熊本医療センター小児科に外来受診(救急受診、オンライン診療、電話診療を含む)、及び入院中の気管支喘息の0-15歳の子どもさんを対象に、電子カルテの情報を基に下記の「調査する内容」について調査します。

調査結果は、日本小児アレルギー学会疫学調査委員会に提出し、同学会にて全国調査としてまとめられます。

本研究の参加について

該当する患者さまの電子カルテ上の情報を、当方で集計させていただきますので、改めてアンケートに答えていただいたり、同意書をいただいたりすることはございません。ご参加の御意志をあらかじめ確認することもございません。個人情報はずべて匿名化して報告させていただきますので、個人のプライバシーは守られています。

万一、この調査に参加したくない患者さまがいらっしゃいましたら、当方にご連絡いただきますと集計からはずさせていただきます、調査を中止させていただくことが可能です。ただし論文の報告後は集計からはずすことは現実的不可能になります。

調査する内容

電子カルテデータを基に、当院における研究責任者が下記について調査します。個人情報は含まれません。年齢、外来・入院別、性別、症状のみによる重症度(見かけ上の重症度)、治療ステップ、喘息に対する長期管理薬の種類、喘息治療内容、過去12か月間における急性発作のステロイド投与の有無、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2型(SARS-CoV-2)の感染の有無と重症度

調査期間

- ・研究対象期間:2020年10月26日～2020年3月31日まで
- ・研究実施期間:倫理委員会承認後～2021年3月31日まで

研究成果の発表

調査結果は、日本小児アレルギー学会疫学委員会で集計され、同委員会で学会や論文にて発表される。病院ごとの結果については公表されず、本調査に協力した医療機関名のみ発表される。

研究代表者

埼玉医科大学病院 小児科 准教授 板澤寿子

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 小児科 緒方美佳

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター小児科 緒方美佳 TEL 096・353・6501 (病院代表)